

袋井市地球温暖化対策実行計画

～区域施策編～

地球温暖化
の
危機が迫っています!!



静岡県においては、この100年で2.4℃も平均気温が上がっており、最高気温や真夏日・猛暑日に関する記録も年々更新されています。

このままでは静岡県内で
真夏日・熱帯夜が60日、
猛暑日が20日*増加!



デング熱を媒介する
ヒトスジシマカの
生息域が拡大!



滝のような降雨の発生は
1980年代と比べて
すでに1.4倍に増加!



一番茶の
収穫量の減少!



このままでは1980年代と比べて
2.1倍*に増加する可能性も!!

浮き皮や腐敗など
みかんの品質低下!



食害の発生!



令和4年度(2022年度)の台風では、
市内でも甚大な被害が発生!

地球温暖化防止には、温室効果ガス排出量を削減する必要があります!



私たち一人ひとりの
取組が重要です!!

温室効果ガスの排出量の約6割が、
私たちの生活や事業活動から排出されています。

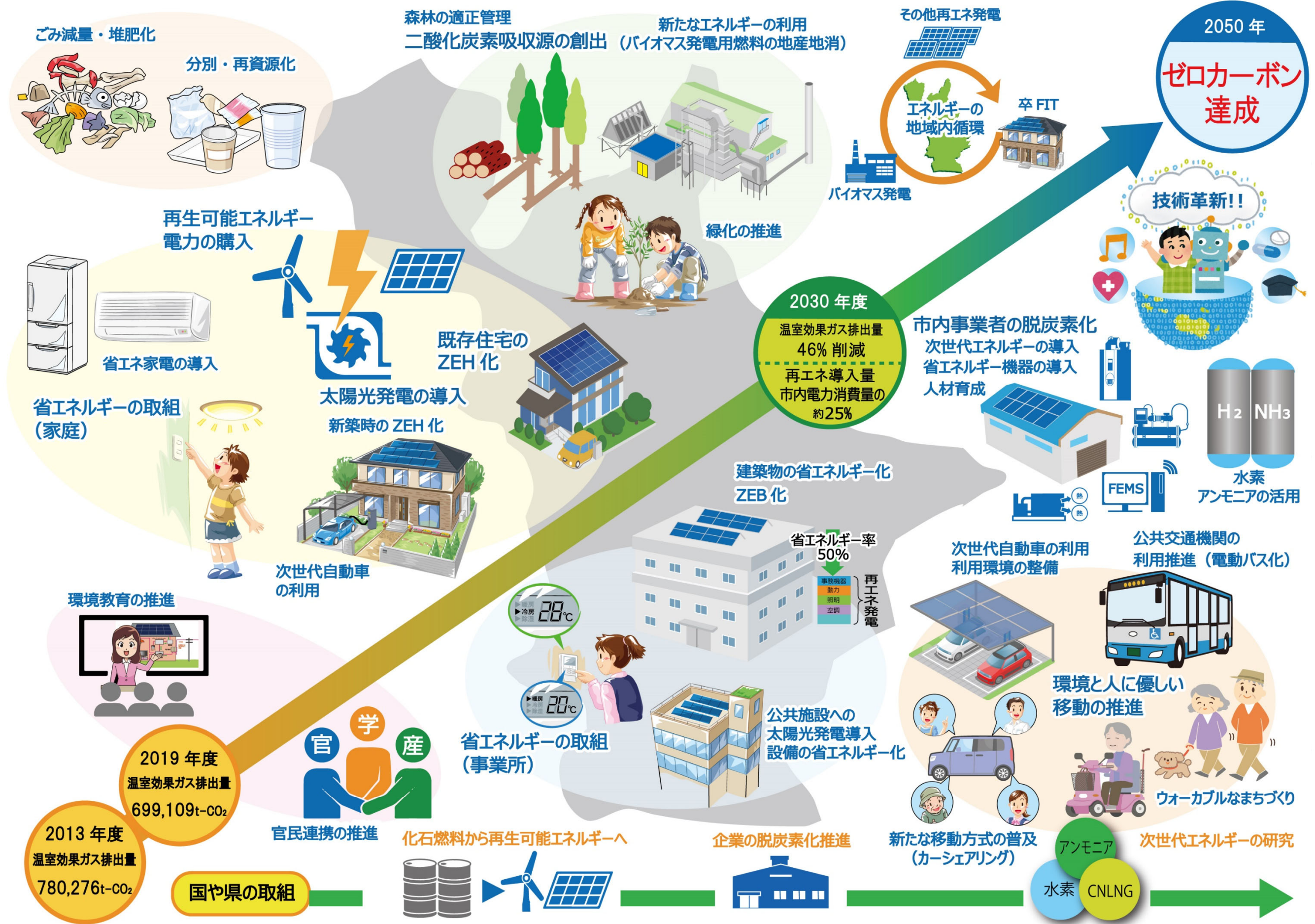
ライフスタイルを見直し、無駄
をなくすことで、
温室効果ガス排出量の削減に
大きく貢献できます!!

©袋井市

※追加的な緩和策を取らず、21世紀末の世界平均気温が工業化以前と比べて約4℃上昇するシナリオ

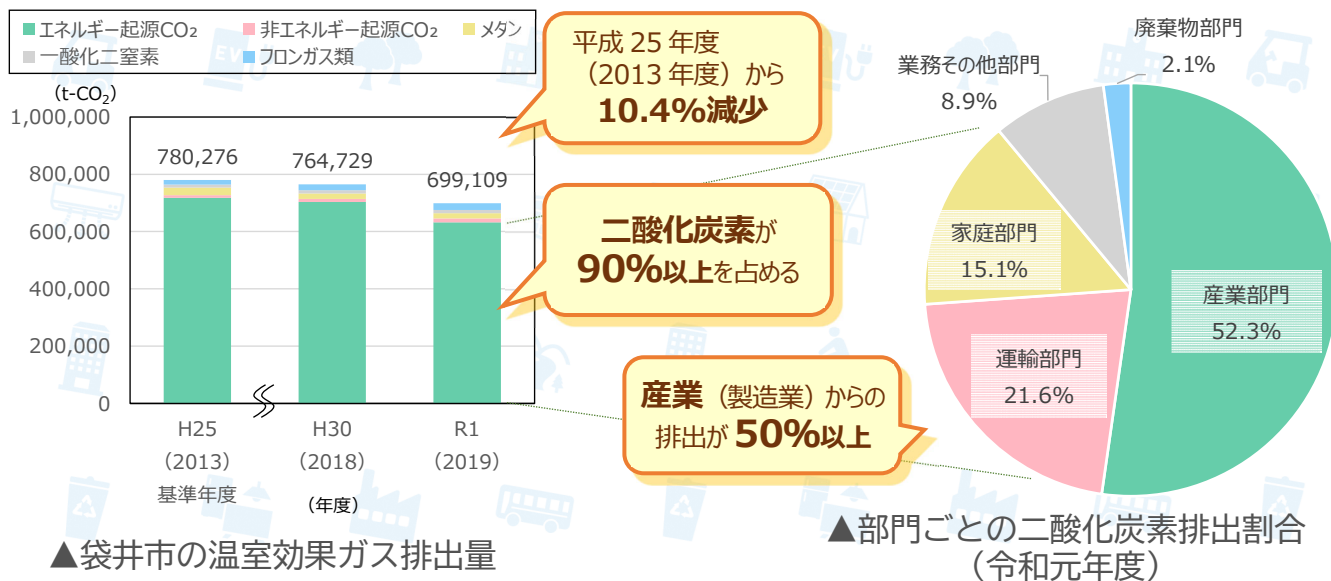
ゼロカーボンシティの実現に向けて着実に取組を進めます！

～ 袋井市は、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとするゼロカーボンシティを目指しています ～



袋井市で排出されている温室効果ガスの量はどれくらい？

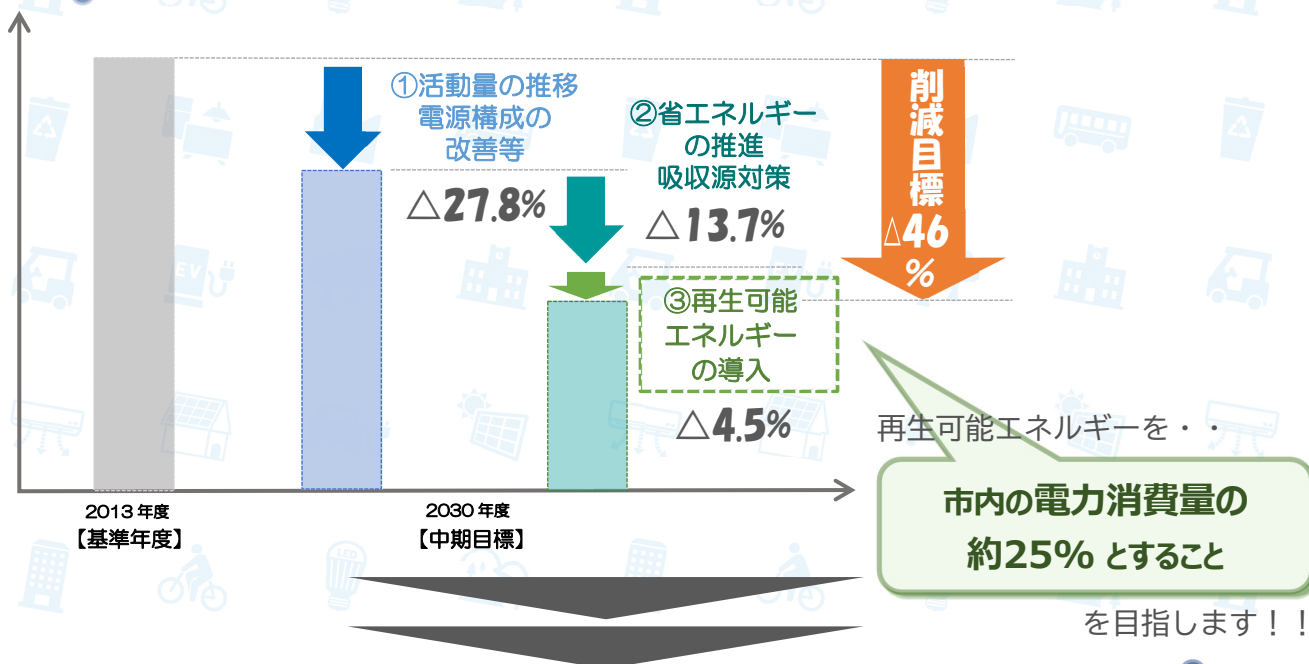
袋井市の温室効果ガス排出量は令和元年度（2019年度）に約70万t-CO₂で、静岡県（2,786万t-CO₂）のおよそ2.5%に相当します。（人口比率は2.4% ※令和2年度国勢調査）
温室効果ガスの中でも二酸化炭素が多く、90%以上を占めています。



温室効果ガス排出量の削減目標！

市民・事業者のみなさんと行政が一体となって、地球温暖化対策に取り組むことによる、市内の温室効果ガス排出量の削減目標を設定しました。

【中期目標】令和12年度（2030年度）
平成25年度（2013年度）比 **マイナス46%** を目指します



【長期目標】令和32年（2050年）
温室効果ガス排出量実質ゼロ を目指します

地球温暖化防止対策を推進します！！

温室効果ガス排出量の削減に向けた取組（“緩和策”）を推進します。

地球温暖化の要因である温室効果ガス排出量の増加は、日々の生活や事業活動と密接に関わっています。日常において、みなさんも出来ることから取り組み、地球温暖化を防止しましょう！

家庭部門

- 省エネ家電の導入を進めます。
- うちエコ診断を受けて電力使用状況を把握し、HEMSの導入等によりエネルギーの効率的利用を進めます。
- 太陽光発電設備等、住宅への再生可能エネルギーの導入を進めます。



家庭で 取り組もう

- ✓ デコ活に参加しましょう！
- ✓ トップランナー制度の家電等の情報を集め、補助制度の活用等により導入を進めましょう！
- ✓ 住宅の断熱改修や気密性の向上等、高い省エネ性能への改修を検討しましょう！

業務その他部門・ 産業部門

- 製造機器や空調設備等の省エネ機器への更新や改修を積極的に進めます。
- BEMS・FEMSの導入等によりエネルギー利用を可視化し、エネルギー利用の効率化や省エネ意識の向上を進めます。
- ZEB化の推進、断熱化や高気密化など建築物の省エネ性能の向上を進めます。

運輸部門

- 電気自動車や燃料電池自動車等の次世代自動車への転換を進めます。
- 充電設備の整備や利用サービスの充実を進めます。
- 公共交通機関や自転車、徒歩での移動を推進します。



廃棄物部門

- ふくろい5330（ごみさんまる）運動の推進、ごみの発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）等、ごみの削減を進めます。
- 使い捨てプラスチック容器等のプラスチックごみの発生抑制、再生利用を進めます。

吸収源対策

- 市民や事業者と連携し、間伐や植樹等、森林整備や循環利用を進めます。
- 公園や道路、公共施設の緑化を進めます。
- 家庭や事業所等の緑化を進めます。



次世代エネルギー

- 家庭・事業所への太陽光発電設備や蓄電池等、再生可能エネルギーの導入を進めます。
- 卒FIT電力等、再生可能エネルギー電力の地産地消を進め、地域資源を活用したエネルギーの市内循環の仕組みを研究します。
- 水素エネルギー等、先進技術や先進的取組の導入を検討します。

みんなで 取り組もう

- ✓ 太陽光発電設備や蓄電池等について情報を集め、補助制度の活用等により導入を進めましょう！
- ✓ 電力事業者が提供する再エネ電気プラン等、環境へ配慮した選択をしましょう！

推進体制づくり

- アース・キッズ事業や出前ECO教室等で、地球温暖化問題への興味関心を育みます。
- 環境イベントや講演会等を開催し、普及啓発を進めます。
- 市内事業者や関係団体との連携による効果的な対策を検討します。



©袋井市

重点プロジェクトに取り組みます！！

袋井市の特性や課題を踏まえて、優先的に着手することが望ましい取組について、先行的に実行していきます。計画全体をけん引し、目標の達成やゼロカーボンシティの実現に向けて、対策の加速化を図ることを目的としています。

重点プロジェクト 1

既存住宅・建築物の ZEH・ZEB 化の推進

ZEH・ZEB化に関する取組意義や温室効果ガスの削減効果、さらに電力料金の低減や健康効果等のメリットに関するPRを進め、市民や事業者の行動を喚起します。

また、国や県が実施する支援制度の他に、市としても追加的な支援のあり方を検討するとともに、優良施工業者の紹介や新技術のPR等により、既存の住宅や建築物のZEH・ZEB化を推進します。

■ 創エネ・蓄エネ

太陽光発電
燃料電池
蓄電池

■ 高効率化

空調
照明

■ 高断熱・高气密化

屋根・天井
外壁
床

■ 高効率化

冷蔵庫
給湯器

▲ ZEH化に必要なリフォーム改修や設備の設置・更新の例



©袋井市

ZEH・ZEBとは・・・

住宅やビルで使用するエネルギーと、太陽光発電等で作るエネルギーのバランスをとり、1年間で消費するエネルギーの量を実質的にゼロ以下にする建物のことです。

取組
指標

既存住宅への補助金交付件数(太陽光発電設備)(累計)

285件
(令和4年度)



427件
(令和12年度)

重点プロジェクト 2

市内事業者のゼロカーボンの推進

市内事業者の地球温暖化対策への取組に関して、資金不足や人材不足、エネルギー使用状況等に関するデータ収集や有効活用等が課題となっています。

それぞれの事業者の実情に応じたゼロカーボンの取組の推進を目指して、事業者自らが現状と課題を把握し、その解決に必要な対策を検討するための仕組みと体制づくり、さらに具体的な支援施策を実施します。

豊沢工業団地 ▶



取組
指標

排出量算定ツールの導入件数(累計)

0件
(令和4年度)



150件
(令和12年度)

重点プロジェクト 3

環境と人に優しい移動の推進

袋井市における移動手段は、自家用車を優先利用する傾向があるため、電気自動車等、次世代自動車への切替えが求められます。

電気自動車の普及には、充電インフラの整備促進が不可欠であり、充電設備の普及策として、公共施設等への充電設備の設置や、スポンサー公募によるラッピング充電設備の設置等、多様な方法を検討し、導入を促進します。

さらに、集合住宅への設置を促進するため、関連業界と連携した普及方策の検討など、新築・既存の集合住宅への充電設備の導入を促進します。

取組
指標

EV充電スタンド設置口数

22口
(令和5年度)



220口
(令和12年度)

重点プロジェクト 4

太陽光発電の導入推進

市民や事業者が太陽光発電を設置していない理由として、設置費用が高い、建物が古い、検討したことがない、といった理由が挙げられています。

そこで、①導入支援、②発電電力の買取と市内循環、③公共施設における率先導入の3つの柱において、具体的な取組内容を検討し、再生可能エネルギー導入目標の達成を目指します。

また、太陽光発電設備導入による温室効果ガス排出量の削減効果や電力料金の低減効果のPR、県の共同購入制度の活用等を通じて、太陽光発電の普及を図ります。



▲太陽光発電設備（浅羽中学校）

取組
指標

再生可能エネルギー設備の設置容量

86,217kw
(令和3年度)



100,017kw
(令和12年度)

重点プロジェクト 5

二酸化炭素吸収源の創出

みどりが豊かで自然を身近に感じられるゼロカーボンシティを目指し、自然環境を活かしながらゼロカーボンを進めるためには、適切な森林整備による樹木の育成と、木材を生産し二酸化炭素の吸収源を確保する循環システムを創り出すことが必要です。

今後は、吸収源として有効な早生樹の活用研究とともに、木質バイオマス関連事業者が森林所有者に代わって経営計画を作成し、木材生産を行う仕組みづくりを検討します。

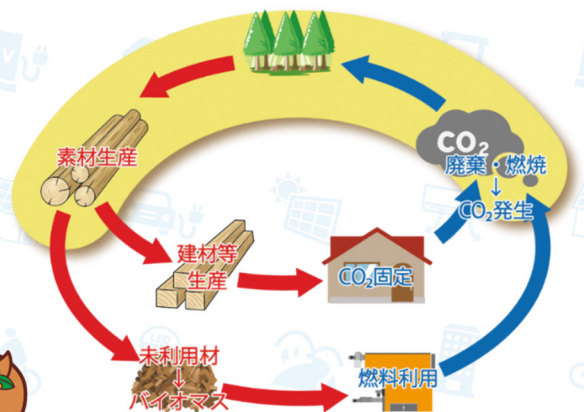
吸収源対策とは・・・

吸収源とは、大気中の二酸化炭素等の温室効果ガスを吸収し、光合成により固定することができる森林や海洋などのことです。

袋井市では、植林や間伐、再造林などの森林整備を行うことで吸収源対策を進めていきます。



©袋井市



▲森林の循環システム

取組
指標

市内木質バイオマス発電における市内産材の使用量(累計)

0t
(令和4年度)



216t
(令和12年度)

気候変動に対応する“適応策”の取組も大切です！

気候変動の要因である温室効果ガスの削減に向けた取組（“緩和策”）と並行して、すでに発生している気温上昇など気候変動の影響に対処し、将来の被害を可能な限り回避・軽減していく“適応策”の取組を推進します。

農業・林業・水産業

- 高温対策技術の導入や降雨量の増加を見据えた農業施設の更新を進めます。
- 高温耐性品種の導入や気候変動に応じた作物の情報収集に取り組みます。



水環境・水資源

- 水資源の大切さに関する啓発活動や節水に取り組みます。
- 天竜川系、太田川系の2系統の水源を確保し、リスクを回避します。

健康

- 熱中症に関する正しい知識の習得や、炎天下での適切な水分補給、冷房設備の使用等により、熱中症のリスクを回避します。
- 節足動物媒介感染症の発生が確認された場合、市民への注意喚起を実施します。

産業・経済活動

- 炎天下での活動回避や適切な水分補給、冷房設備使用等により、熱中症のリスクを回避します。

自然生態系

- 森林整備を実施するとともに、定期的に昆虫等の在来生物の観察を実施します。
- 特定外来生物に関する啓発活動や、見慣れない外来生物を発見した際の市への報告を呼びかけます。

自然災害・沿岸域

- ハザードマップ等の作成や、災害リスクに関する理解の促進に取り組みます。
- 防災情報について、多様な媒体を通じて適時適切に提供します。
- 河川改修や雨水貯留施設、ポンプ場整備を進めます。
- ハザードマップや土砂災害警戒区域の確認、タイムラインの作成等に取り組みます。



市民生活・都市生活

- 水道施設の計画的な更新・強靱化や、水害により被害を受けたインフラの復旧修繕を行います。

袋井市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）概要版 令和6年（2024年）3月発行

【問い合わせ先】袋井市 環境水道部 環境政策課 環境企画係

〒437-8666 袋井市新屋一丁目1番地の1

TEL : 0538-44-3135（直通） FAX : 0538-44-3185

E-mail : kankyou@city.fukuroi.shizuoka.jp

